

別紙様式 2

| | | | |
|------------|---|-------------|-----------------|
| 授業科目名 | 環境経済学 | 大学名 | 宇都宮共和大学 |
| 科目区分 | 専門教育科目 | 開講時期 | 前期（4月6日～7月29日） |
| 学部・学科等 | シテイク学部シテイク学科 | 曜日 | 木曜日 |
| 必修・選択区分 | 選択科目 | 時限（時間） | 3限（13:00～14:30） |
| 標準対象年次 | 3学年 | 授業形態 | 講義 |
| 単位数 | 2単位 | 授業会場 | 宇都宮シティキャンパス |
| 担当教員名 | 大石 和博 | | |
| 電話番号（代表者名） | 028-650-6611 （学務課 浮須 [ウキス]） | e-mail アドレス | |
| オフィスアワー | 特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。 | | |
| 授業の概要 | <p><授業概要>この講義では環境問題を扱う経済学を学びます。特に、市場の失敗を中心にミクロ経済学を学ぶことにより、環境政策のあり方を考えるうえで必要な基礎理論を学びます。環境と経済が身近に感じられるように、新聞紙面に出てくる温暖化問題や廃棄物問題などを取り上げながら、環境経済学の基本的な考え方を解説します。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境経済学の基本的な用語（外部不経済、市場の失敗、コモンズ、公共財など）を説明することができる。 ・経済分析を理解できる。 <p><授業計画></p> <p>第1週 講義概要、序章 なぜ経済学が必要なのか、環境経済学とは（希少性、トレードオフ、機会費用）</p> <p>第2週 経済発展と環境問題（成長の限界）、持続可能な発展（生産可能性曲線の形状）</p> <p>第3週 持続可能な発展（生産可能性曲線と技術進歩）</p> <p>第4週 ごみ問題とは（一般廃棄物、産業廃棄物）</p> <p>第5週 補論 需要（支払意思額、消費者余剰、限界支払意思額）</p> <p>第6週 補論 需要曲線の描き方（需要曲線のシフト、集計的支払意思額）、機会費用</p> <p>第7週 補論 供給曲線の描き方（限界費用、供給曲線のシフト）</p> <p>第8週 補論 市場（均衡）、社会的余剰（消費者余剰、生産者余剰）、地球温暖化問題の経済モデル（比較静学）</p> <p>第9週 地球温暖化問題の経済モデル（計算演習）、外部性と市場の失敗（外部費用）</p> <p>第10週 外部性と市場の失敗（死荷重ロス）</p> <p>第11週 共有資源の利用と管理（コモンズの悲劇）、公共財と環境問題（外部経済、外部便益）</p> <p>第12週 公共財と環境問題（排除不可能性、非競合性）、公共財の最適供給（フリーライダー問題）</p> <p>第13週 公共財の最適供給（計算演習）、直接規制と市場メカニズム（命令・統制型手段）</p> <p>第14週 最適な生産量、直接規制と効率的な規制水準（一律の直接規制と生産技術に応じた規制）</p> <p>第15週 講義内容の振り返り、今後の展望（発展的な内容）</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法></p> <p>教科書 特になし。各回講義資料を配付。</p> <p>参考書等 栗山浩一・馬奈木俊介『環境経済学をつかむ 第5版』有斐閣、2024年、税込2,640円。</p> <p><成績評価法> 原則として、期末試験（100%）で評価します。</p> | | |

